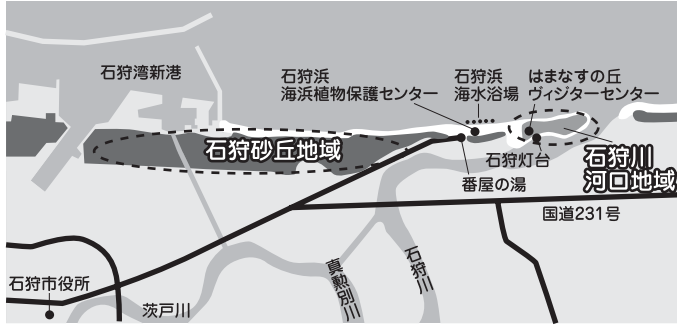


石狩浜自然観察

おすすめランキング!!



皆さんもぜひ足を運んでみてくださいネ!!

石狩浜海浜植物保護センター
ないとう ほなこ
内藤 華子さん

石狩砂丘地域

石狩浜海水浴場から石狩湾新港までの間には標高10mほどの砂丘が海と並行して連なり、海側にはハマナスやエゾカワラナデシコが彩る海岸草原、陸側には全国でも最大規模の貴重なカシワの天然海岸林が分布します。

7月のオススメはなんといつてもお花でしょう!しかも、見るなら朝がいいですね。花も咲き始めて生き生きとしていますから、その色もひととき鮮やかなんです。1日ハッピーな気持ちになれますよ。

▼エゾカワラマツバ

房状のクリーム色から黄色がかった小さな花が茎の先に円錐状につきます。主に海岸草原に見られ、トゲトゲの葉がまるでマツバのよう。



海岸草原

▶カセンソウ

黄色の直径3~4cmのヒマワリ状の花を複数茎の先に付けます。比較的、湿った海岸草原で多く見られます。



おすすめ
第1位

海浜植物の原生花園

天然のお花畑で、その彩りの美しさに思わずうっとり

▼ノコギリソウ

白または薄ピンクの小さな花が茎の頂部に集まって傘状に咲きます。主に海岸草原に見られ、葉の縁がノコギリの歯のようにギザギザです!



▲エゾカワラナデシコ

海岸草原の中で、ピンクのフリル状の花びらがひとときかわいい花。弁先が細く裂けているのが特徴です。美の神が造り出した「造形の極地」とも!

▼エゾリトラノオ

青もしくは紫色の花で、花穂がまるでトラの尾のように見えることからその名が付けました。カシワ林沿いに見られます。



カシワ林沿い

▶アマニュウ

すらりと背の高い植物で、白い花が咲きます。ニンジン仲間、キアゲハの幼虫がいることも。花にはハチ、ハナアブ、ハナカミキリなどの多くの虫が集まります。



美しい花の姿はカメラで撮って、決して盗ってはいけません!



石狩川が運ぶ大量の土砂と、日本海から吹き寄せる強風。それらが石狩海岸に長大な砂丘を形成しました。今回はその砂丘に広がる海岸草原やカシワの天然海岸林、そしてハマナスをはじめさまざまな海浜植物が群生する石狩川河口の7月の見どころを、石狩浜海浜植物保護センターの学芸員・内藤華子さんに教えていただきました。
※写真・イラスト/石狩浜自然観察ハンドブック、海浜植物保護センター展 示より引用

おすすめ
第2位

姿だけじゃなく、鳥たちの声も必聴です！
野鳥のそえずり

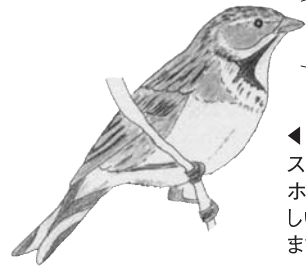
北海道の草原を代表する野鳥たちが観察できるのが、この自慢です。動きの素早い鳥たちを探するのはちょっと大変なので、まずは耳をすまして。どんな鳥がそばにいるのか推理するのもまた楽しいですよ。

ケケシ
ジョッチリ
カチカチ
ピピピ



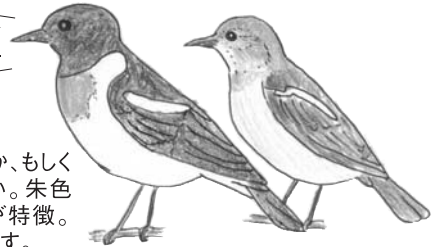
▶コヨシキリ
スズメよりやや小さい。おなかは白っぽく、全体は淡い茶色。昆虫を食べます。

チッチン、
チチョチュ



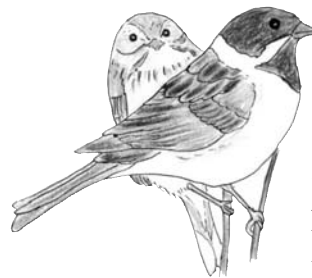
◀ホオアカ
スズメくらいの大きさ。ホオが赤いのが愛らしい。昆虫などを食べます。

ジジジ
フィーヨーウィー



▶ノビタキ
スズメくらいか、もしくはやや小さい。朱色がかかった胸が特徴。昆虫を食べます。

チッチ
ジュリン
チュリージュリーチュリー



◀オオジュリン
スズメくらいか、もしくはやや大きい。昆虫や草のタネを食べます。

おすすめ
第3位

花粉の運送屋さん“は自然豊かな海辺のシンボル”
昆虫たち

いろいろな花があることは、いろいろな虫がいること。つまり、きれいな花を楽しむことができるのは虫たちのおかげでもあるのです。そして、彼らの働く様子は、いつまで見ても飽きないから不思議です。

▶ミツバチ・マルハナバチの仲間

ハマエンドウが大好きで、舌が長いので蜜が花の奥にあってもしっかりと花粉を足に付けて次々と飛び回ります。



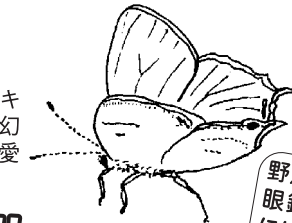
↑
5~7mm
↓

▲エゾアカヤマアリの巣

▲エゾアカヤマアリ
世界最大級の大コロニーがあります！その数は、巣が45,000巣、働きアリが3億匹以上、女王アリで100万匹以上。なお、巣は直径20~30cmほどの、枯草を敷き詰めて少し盛り上がった、フカフカしたもの。誤って踏んで、アリの攻撃を受けませんように…。

▲カミキリムシ・ハナムグリの仲間

のんびり屋な分、観察するにはもってこいの虫たち。ハマボウフウの花テーブルにどっかり腰をおろして食事をする姿がよく見られます。



▶ミドリシジミの仲間

カシワの木立を、青光りする羽をキラキラ輝かせて飛び姿はとても幻想的。セフィルス(西風の神)の愛称があります。

企画講座もアリ!!

「エゾアカヤマアリ」

市民図書館でスライドを見ながら学習した後、バスで石狩砂丘草原へ移動し、実際にエゾアカヤマアリの観察します。※詳細はP.19をご覧ください。

日時 8月7日(日)10:00~13:00
定員 30人(7月15日より先着順)
費用 100円(保険代)
持ち物 筆記用具・ルーペ(お持ちの方)・帽子
※草原内に入るため長ズボン着用のご注意
申込・問合せ 石狩海浜植物保護センター

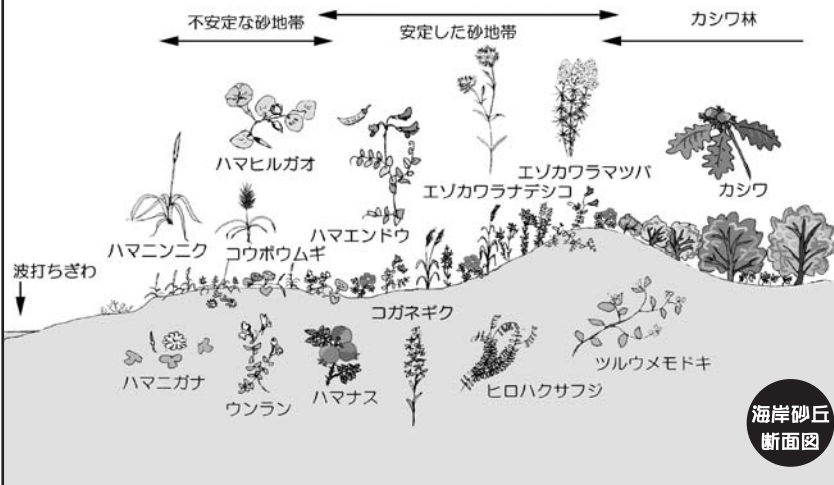
野鳥の観察には双眼鏡、昆虫の観察にはルーペがオススメ。なお、双眼鏡を逆さにしてルーペ代わりに使うのは、通の裏技です。



おすすめ
第4位

実は“2つ”がある道内屈指の砂丘
石狩砂丘

石狩海浜海水浴場から石狩湾新港までの間に大きく分けて2つの砂丘があります。その規模は道北の稚内砂丘に次ぐもので、小樽市銭函から厚田村無煙浜まで海と並行に約25km続いています。波打ち際から内陸へ向かって約50~100mのところに標高約6mの海側の砂丘(第1砂丘)が、250m付近のところに標高約10mの砂丘(第2砂丘)があって、この第2砂丘を境に海側に海岸草原、陸側にカシワの海岸林が分布します。



海岸砂丘断面図